

総合的な学習の時間の全体計画モデル例

新学習指導要領の解説に示された全体計画を構成する要素を含んだ全体計画は次のような型が考えられるが、学校の実態等に応じて年間指導計画や単元計画などで示した方がよいかなど考慮し、各学校で内容、型など工夫する必要がある。

〇〇小（中）学校 総合的な学習の時間全体計画

<地域・学校・児童生徒の実態>	<教育目標> <hr/> <年度の重点事項> <hr/> <各学校において定める目標>	<総合的な学習の時間の目標> * 学習指導要領上の目標を記入する。
<保護者・地域・教職員の願い> * どんな子どもたちに育てたいか、学校でどんな点に力を入れてほしいかなど記入する。	<育てようとする資質や能力及び態度> * 学習指導要領に示された次の三つの観点を参考にし、全職員で設定する。 ○ 学習方法に関すること ○ 自分自身に関すること ○ 他者や社会とのかかわりに関すること	<各教科等との関連> * それぞれの育てたい資質や能力及び態度、各学校において定める内容と、各教科・領域の学習がどのようにかかわっているか記入する。
<地域との連携> * 地域の人材、行事、施設等をどのように活用し、また、関連を図っていくか記入する。	<各学校において定める内容> * 各学年における学習内容と単元を簡潔に記入する。 * 学習対象や学習事項という形で記入することも考えられる。	
<他校種、他校との連携> * 系統性を踏まえた指導ができるように、また、校種間の重複がないように連携を図る内容を記入する。		
<学習活動> * <各学年において定める内容>を進めていく上で特に重視すること（留意点等）を記入する。		
<指導方法> * 指導方法で特に重視することなどを記入する。	<学習の評価> * どのような学習の評価を行うか記入する。	
<指導体制> * 職員、地域人材、保護者など、どのような指導体制で学習を進めていくか記入する。		

